

4.1 課題と対策の概要

4.1.1 施設管理者の声に基づく課題と対策

令和2年度に実施した「アンケート調査」¹⁾と、そのアンケート調査結果をもとに実施した詳細聞き取り調査の結果をもとに、農業水利施設の管理者から寄せられた通水阻害対策実施上の課題と、その課題を解決するための対策、対策を講じる土地改良事業のステージを表55に整理した。

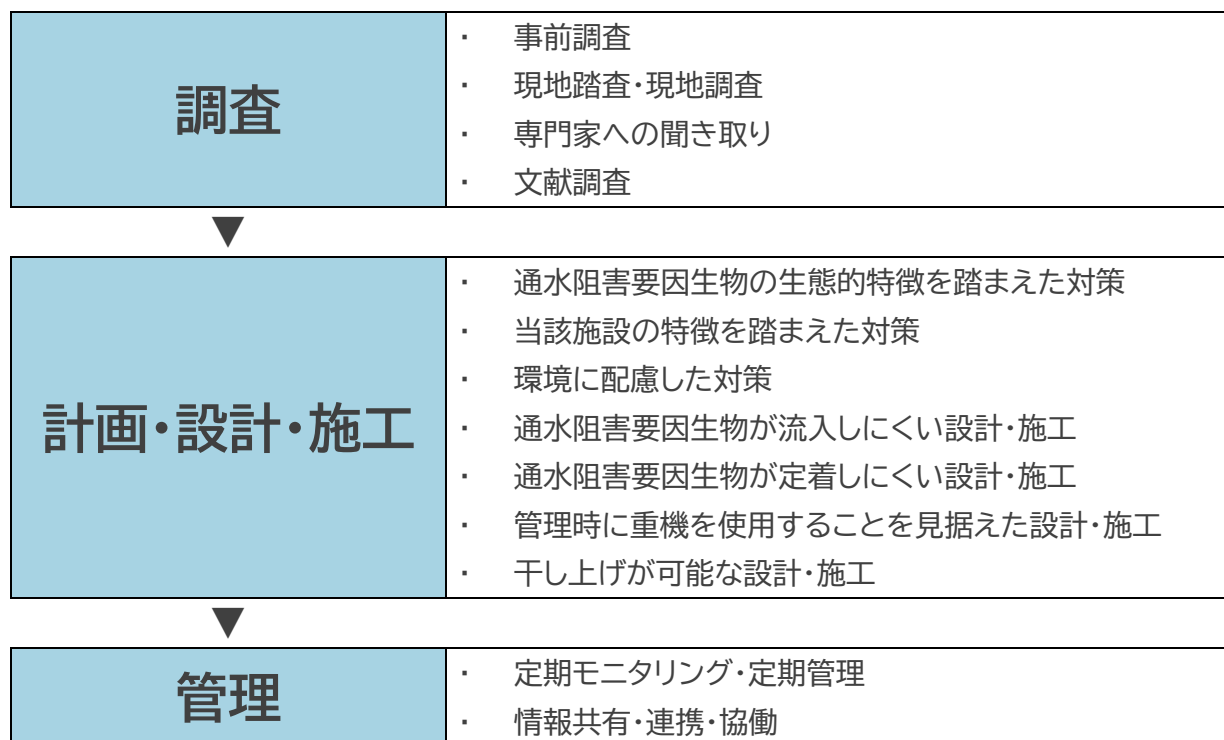
課題を概括すると、現状では、外来種等による通水阻害の発生を予知して事前に対策を講じている施設は極めて少ない。事業の実施に際しては、事前の調査により水系全体の通水阻害要因生物の分布状況を把握し、工事を実施する際のまん延防止対策、侵入してしまった場合に効率よく通水阻害要因生物を除去することが可能な施設構造を計画すること等に繋げていく必要がある。

表 55 「アンケート調査」、詳細聞き取り調査により抽出された課題と対策

課題	対策	土地改良事業 ステージ
通水阻害要因生物がどこで繁殖しているか・どこから流入してくるのかわからない	・ 事前の情報収集、現地踏査等による通水阻害要因生物の生息・生育状況や侵入リスクの把握 ・ 情報共有	調査・管理
通水阻害要因となる生物を正しく同定できない	・ 行政機関への問い合わせなどの専門家への同定依頼	調査・管理
施設の構造上、重機を入れることが困難	・ 当該施設の特徴を踏まえた対策の検討 ・ 施設更新の際の管理を見据えた設計・施工	計画・設計 施工
施設の構造上、干し上げが難しい	・ 当該施設の運用方法を踏まえた対策の検討 ・ 施設更新の際の管理を見据えた設計・施行	計画・設計 施工・管理
誰に相談したらいいかわからない	・ 最寄りの自治体窓口への情報共有と対応方法の相談	管理

4.1.2 土地改良事業の事業サイクルごとの課題と対策の全体像

通水阻害要因生物の侵入防止及び事業の実施によるまん延の予防、侵入してしまった場合の効率的な対処（管理）のため、土地改良事業の事業サイクルにおける①調査、②計画・設計・施工、③管理の各ステージにおいて、実施、検討しておくべき事項を以下に整理した。次頁から各ステージごとの具体的な内容を示す。



参考文献

- 1) 農林水産省 農村振興局 農村政策部鳥獣対策・農村環境課（2021）「農業水利施設における水生生物による通水阻害実態調査－アンケート調査」https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/index-75.pdf, 2025 年 2 月 20 日確認